

令和2年7月7日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 財 務 部 長 権代 徹也
 (TEL. 03-4540-3804)

2020年6月次 月次概況（速報）のお知らせ

2020年6月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	2020年3月期											
	2019年									2020年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	436	430	438	446	552	397	411	293	432	506	450	1,077
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	64,962	85,708	73,679	70,709	121,698	72,241	69,676	43,497	45,475	60,432	87,717	163,604
外国為替取引口座数 (単位：口座)	331,528	332,653	333,795	334,878	335,861	336,996	337,918	338,691	339,443	339,790	340,014	340,483
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	64,226	63,060	64,426	64,422	63,282	63,293	64,021	63,383	63,183	69,788	66,290	65,510
一般顧客	57,695	58,098	58,594	58,474	59,231	58,929	59,250	58,536	58,072	64,763	61,596	62,895
金融法人（B to B）	6,531	4,961	5,831	5,948	4,050	4,363	4,770	4,847	5,111	5,025	4,693	2,614
マネパカード口座数 (単位：口座)	152,808	153,899	155,079	156,330	157,321	158,101	158,861	159,676	160,307	161,324	162,167	162,655

年 月	2021年3月期											
	2020年									2021年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	407	303	318									
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	82,072	92,851	106,893									
外国為替取引口座数 (単位：口座)	340,605	340,735	340,825									
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	62,460	62,004	61,807									
一般顧客	60,227	59,654	59,267									
金融法人（B to B）	2,232	2,350	2,539									
マネパカード口座数 (単位：口座)	162,828	163,034	163,058									

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 2011年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとB to B取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

< 6月次の概況 >

6月の外国為替相場は、米ドル／円については、1ドル＝107円台後半で取引が始まり、2日には欧米の株高を受け108円台後半まで急伸し、その後発表された米国経済指標が市場予想を上回る結果となったことやECBによるパンデミック緊急購入プログラム（PEPP）の資産購入額拡大発表を受け4日に109円台に到達しました。5日に発表された米国非農業部門雇用者数が前月比＋250万人と▲750万人の市場予想に反して増加となると、更に上昇し109円台後半の高値を付けました。週明けは一転して円高に進む展開となり、世界的な株安等が影響し11日には106円台半ばまで下落しましたが、16日には日銀による資金繰り支援拡大の発表を受け株式市場が値を戻すと107円台半ばまで値を戻しました。23日には本邦勢のレパトリに伴う円買いに対する思惑からドルが売られ106円前半の安値を付けましたが、月末にかけて値を戻し107円台後半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、概ね米ドル／円と同様の値動きとなりました。外国為替相場の変動率は米ドル／円については、前々月を上回る水準となり、欧州・オセアニア通貨については2019年8月以来（新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた2020年3月を除く）の高い水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は前月比15%増加の1,068億通貨単位となりました。一方、営業収益は、前月に引き続き新型コロナによる市場の混乱からの金利低下の影響を受け、前月比5%増加の318百万円となりました。また、外国為替取引預り証拠金は一般顧客分が減少、金融法人分が増加となり、全体では197百万円減少の61,807百万円となりました。

以 上